

趣 意 書

独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校は、校祖近藤真琴翁が明治8年(1875年)9月に芝新銭座二番地(現在の東京都港区浜松町)に航海測量習練所(後の商船黌)として創基し、分校として、明治14年(1881年)8月20日に三重県鳥羽町に鳥羽商船黌として創立されました。その後、私立、市立、県立などの変遷を経て、昭和42年(1967年)6月に国立鳥羽商船高等専門学校となりました。

創立以来、我が国の産業界の変化に対応して順次学科の新設・改組を行い、平成17年4月には専攻科海事システム学専攻、及び、生産システム工学専攻が設置されました。令和元年(2019年)には、現在のように商船学科、情報機械システム工学科の2学科体制となりました。

卒業生・修了生は、令和5年9月で7,959名を数え、海運産業、同関連産業はもとより、我が国の産業界において優秀な技術者を輩出し、多くの産業の発展に多大なる貢献をしております。

本校は、令和7年(2025年)に本校の母体となる航海測量習練所の創基から起算し、150周年の記念すべき年となります。同年には、練習船鳥羽丸の新造船の竣工も計画されております。又、令和9年(2027年)には高専設置60周年を迎えます。本校の栄光ある足跡を未来に続く悠久のものとするとともに、海事・海洋、情報、電気電子、機械にわたり、GXやDXを踏まえた成長分野と未来社会に人材を輩出していく新たな展開を起こす契機とし、卒業生・修了生、及び、関係各方面の各位と母校の輝かしい将来の展望とその実現を期するため、独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校創基150周年・高専創立60周年記念事業基金を設立しました。これにより諸事業を一層有意義なものにします。

このため、「独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校創基150周年・高専創立60周年記念事業委員会」を組織し、記念行事、及び、記念事業を計画し推進することと致しました。

何卒皆様方の熱意ある御支援を頂き、この記念事業における所期の目的が達成できますよう基金にご賛同をいただきたく衷心よりお願い申し上げます。

令和5年9月吉日

独立行政法人国立高等専門学校機構
鳥羽商船高等専門学校

校 長

和泉 亮

同窓会長

菅沼 延之

事務部長

喜井 健二

同窓会事務局長

江崎 隆夫